



はたなか ひろこ 議員
畑中 大子

暗い道

街路灯や防犯カメラの設置を

町長／ふるさと農道に防犯灯設置

畑中

住民懇談会の中で複数の方から、ふたば未来学園の近くの道路の夜間照明が少なく危険なため街路灯などを増やすべきという意見が出ていました。

街路灯や防犯カメラの設置をするべきではありませんか。

町長

ふるさと農道については、ふたば未来学園サッカーグラウンドの新設に伴い、生徒の安

全を確保するため、町道苗代替線との交差点からサッカーグラウンドへの区間に防犯灯を令和2年12月中旬に6基設置する予定です。防犯カメラは、広野小学校・中学校、認定こども園、児童館並びにふたば未来学園中学校・高等学校を含む文教地区を防犯重点エリアとして、「見守りカメラ」を25台設置し、生徒たちの犯罪不安の軽減並びに監視体制の強化に取り組んでいます。

新型コロナウイルス

双葉郡に保健所設置を

町長／スタッフ増員見込めない

畑中

新型コロナウイルス感染症の被害が拡大する中で、保健所の役割は重要な位置を占めています。相双管内には1カ所しかありません。

感染症への迅速な対応が必要時に、双葉郡に保健所を設置することで、公衆衛生機能や検査体制を上げることができそうです。検査体制がより充実するように、保健所を双葉郡内に、できれば町内に設置することを要請するべきではありませんか。

町長

相双保健所では、新型コロナウイルス感染症対策における人員不足のため、他の業務担当者の応援を得て現体制を維持しています。全国的に感染者が増加傾向にある中で、専門スタッフの増員が見込めない現状です。

今後の保健所機能体制を念頭に、双葉郡内の新型コロナウイルス検査体制のより充実を図るべく要請していきます。

インフルエンザ

ワクチン全世代無料化を

町長／高齢者と子どもを優先

畑中

①双葉郡内の他の自治体では、年齢制限なく無料で接種できると聞きました。

新型コロナウイルス感染症は誰もがかかる恐れのある疫病であり、インフルエンザの同時流行が懸念されています。

より多くの人がワクチンを接種できるように、広野町でも全世代無料で接種できるようにすべきではありませんか。

②町内医療機関でワクチンを受けられる人は窓口で申し込めるのですが、町外医療機関の場合は接種済証が必要です。対象者に郵送するべきではありませんか。

町長

①町内医療機関においては、ワクチン不足により接種ができない期間が発生しています。65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種実施期間を令和3年1月31日まで延長し、適正なワクチン接種が出来る環境を整えるために、65歳以上の高齢者と中学生以下の子どもたちを優先し実施していきます。

②町外医療機関で予防接種をする場合には、問診票と接種済証を保健センターまたは町役場に受け取りに来ていただいています。接種済証については、受け取りに来ることが困難な場合には郵送してありますが、今後、広報等でお知らせし、接種済証の郵送対応をしていきます。

子ども会

活動再開の状況は

町長／再開に向け協議し取り組む

遠藤

幼児・児童とその保護者のコミュニケーション作りと地域社会教育の場となっていた「子ども会」の再開は当町にとって大変重要であると考えます。

以前の質問に対する答弁では、子ども会を再開したいとしていましたが、「子ども会」活動再開の進捗状況について伺います。

教育長

震災以前は、町内に17の「子ども会」があり、様々な事業を実施することで子どもたちや保護者の地域コミュニケーションの場として機能を果たしてきました。「子ども会」活動の再開に向け、平成29年度に幼稚園5歳児、小学生保護者を対象にアンケートを実施し、15人が回答、約6割の方が「子ども会」活動を再開した方がよい、約7割の方が町全体での活動が良いとの結果でした。

平成30年度に「子ども育成会連絡協議会再開準備委員会」、「広野町青少年育成町民会議再開準備委員会」を組織し、震災後、活動を休止していた「広野町青少年育成町民会議」を令和元年度に再開しました。令和2年度より「子ども育成会連絡協議会」の再開に向けた協議を行う計画について、コロナ禍の状況により動向を注視し、関係各位と協議し取り組んでいきます。

防災倉庫

分断に備えて分散しては

町長／公共施設エリアで集中管理

遠藤

現在、当町では防災倉庫に一括して防災用品を備蓄し管理しています。

町内には折木川・浅見川・北迫川があり、昨年の台風19号では甚大な被害が出ています。

年々、降水量を記録する台風や冬の爆弾低気圧など、川の氾濫や崖の崩落による道路の分断に危機感を募らせています。

災害時に迅速に対応できるよう分断が想定される地区に防災用品を分散して備蓄してはいかがですか。

町長

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえ、災害発生時における適切な物資の搬入・搬出や管理について、全町において様々な被災状況を想定し、立地条件として安全が確保され迅速な対応ができる役場を中心とした公共施設エリアで一括集中管理しています。

近年の記録的な台風や豪雨災害等を踏まえ、町内において備蓄した防災用品を適切に配布する体制を整えます。



えんどう ひろし 議員
遠藤 浩



防災倉庫（下北迫）



水防倉庫（下北迫）